■資料①　情報発信の充実

【１】施設専用ホームページの充実と積極的更新

本施設の専用ホームページを活用し施設情報や利用方法のご案内、また最新イベントや定期スクール情報、利用・混雑状況の開示等も小まめに更新し、魅力あるコンテンツを発信します。
今やスマートフォンやタブレットで情報を得るのが主流になっている為、施設ホームページも「パソコンで見る画面」と「スマートフォンなどで見る画面」を分けることで、どちらの媒体を介しても施設の情報が得やすい環境を整えます。
また、ＳＳＫ内のネット専門部署と連動しながら、アクセスをいかにして高めるのか随時検証する等、天理市民の皆様に「見やすい・分かりやすい・アクセスしやすい」と感じていただけるような創意工夫を凝らし、必要に応じてバージョンアップしながら、アクセス頻度の高いサイト運営に徹底して努めます。

また天理市様のホームページより、施設専用ホームページに入っていただけるようにリンクさせる等、新規訪問やリピート共に高まる良質なサイト運営を実施します。さらに天理市様ホームページ、地元企業様ホームページにバナーリンクを貼り付けて頂く等、天理市を拠点とする各団体様と連携を取り施設ＰＲと地域の情報発信に努めます。
同時に「奈良スーパーアプリ」もホームページ上にリンク付けし利用者の皆様が施設の空き状況や申込手順等を確認しやすいサポートも行ってまいります。

当該イメージ画像は
著作権･肖像権･プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

【２】地域広報誌「町から町へ」への情報掲載依頼

地域広報誌「町から町へ」への施設情報掲載を取り上げて頂けるよう依頼します。
現在運営中の指定管理施設においても地域広報誌への掲載を積極的に行っています。天理市民の方が如何に地域広報誌への興味をお持ちで情報収集のコンテンツとして有効活用されているかを運営管理において強く認識しています。
さらに多種多様の地域の多くの方の目に触れる“キャッチコピー・フレーズ”を用いるなど積極的な情報発信を行います。



＜町から町へ７月号＞

【3】ソーシャルネットワーク（ facebook 、 X 、 Instagram ）の活用

多くの人にリアルタイムで情報発信できる手段として有効なソーシャルネットワークを積極的に活用します。ソーシャルメディアで多くのユーザー数を伸ばしている **Facebook、X、Instagram** ですが、新たなマーケティングツールとして、施設やイベントの紹介、プログラム内容を載せ、リアルタイムで多くの方に情報を周知させていきます。

イベント終了時には、その日行われたイベント等を、写真付きで公開します。

また、スタッフのブログ等により利用者や地域の方に身近な施設として感じてもらう等**ＳＮＳを有効活用**し、地域とのコミュニティを作っていきます。

【4】デジタルサイネージの導入

総合体育館の窓口付近に、**「デジタルサイネージ」を導入**します。他施設においても視覚的に目に入りやすく、イベントやスクール、施設利用の注意事項等、様々な情報を流すことができる為、非常に効果的な告知ツールとして活用しています。

動画を映し出すこともできる為、天理市様と連携し「まちの情報」や「観光地」等、天理市の情報発信にも努めていきたいと考えております。

当該イメージ画像は
著作権･肖像権･プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

【5】ポスター、チラシ等の作成

本施設を多くの皆様に知っていただく為、イベント開催等のポスターやチラシを作成し、施設内や学校での配布、必要に応じて、近隣駅構内や路線バス車内広告等を活用する等引き続き、**積極的な広報活動**を行っていきます。

現指定管理期間ではイベントや定期教室の案内チラシを天理市文化スポーツ振興課様に支援頂き市内の各園・小・中学校へ配布支援を頂いておりました。引き続き天理市様にご支援頂ける事業を開催しご支援を頂ける関係性の維持に努めていきます。



例:イベントポスター･チラシ
（天理市体育施設等:開放 DAY）

【6】掲示板の設置

施設内に掲示板を設置し、空き情報や、スポーツ催事の案内、スポーツ教室の案内等、誰にでも気軽に見ていただけるように、**「スポーツ情報コーナー」**を設置します。また「地域情報コーナー」も設置することで、利用者の増加等、施設の活性化につなげます。さらに市内を拠点に活動するスポーツ団体やサークル等のポスターも掲示し、**地域団体様と一体となった情報発信**にも積極的に努めていきます。

当該イメージ画像は
著作権･肖像権･プライバシーに関する問題にて非表示としております。

【7】地域との連携による広報

市内の商店街や掲示板などを通じて、広報活動を展開します。

施設の利用促進にかかわらず、スポーツに関する興味や関心を高める取組みを展開します。

【具体例】

※地元の行事（祭り・イベント等）への参加（協賛・出店等）

※本施設のスポット的イベントに、地元の団体・企業・個人等の参加・協力

※地元学校との連携

■資料②　利用者様の声の反映

媒体	特徴他	
施設職員	窓口・接客対応時。 利用者様との積極的なコミュニケーションを心がけ、 利用者様の生の声を聞き出します。	
電話・FAX	電話・FAX による意見聴取等。	
ご意見箱	施設内に設置します。 直接話すのが苦手な方やスタッフに進言するまでもない と判断されがちな案件も気軽に収集できます。	
アンケート	来館者を対象に、年 1 回以上実施します ・各種スクール、イベント専用投票 BOX を設置 ・回答、結果も随時公開	
メール	対応の記録が残り、内容を明確に把握できます。	
コミュニティ サイト	「Facebook」等活用、複数人で意見交換できます。	

・公共施設は市民全員の共有物であり、様々な価値観やバックボーンを持った方々が
利用されますので、要望の伝え方も人それぞれのはずです。
平等・公平の観点からも、考えられる可能な限りの種類の方法により、
利用者様の声を収集します。

・収集した貴重なご意見等は、利用者情報としてデータベースで一元管理し、
スタッフで情報共有を行います。

・市民等利用者様から、勇気を持って申し出いただいた苦情・要望に対しては、
真摯に受け止めるとともに、より良い管理運営につなげていく「無形の資産」として
認識することを基本理念とします。

・ご要望等を申し出ていただいた利用者様のプライバシーは確実に保護されるよう、
スタッフ教育を徹底します。

■資料③　SDGsへの取組み

ＳＳＫは現指定管理期間において天理市様から依頼を受け**「エコオフィス活動管理シート」**にて各施設の電気・水道・燃料・紙の使用量、ゴミの排出量の実績データを適宜報告し、数値を共有する事で日々の運営管理における環境保全に繋がる取組みを全スタッフに強く意識付けしました。「すぐに着手できる経費縮減策」として挙げた項目はすべてＳＤＧｓに繋がる有効な取組みと認識する為、次期指定管理期間においても徹底して継続して取り組んでいきます。

■ＳＤＧｓを目指した８つの取組み

ＳＳＫは限りある資源を無駄にせず、次世代に繋ぐためにＳＤＧｓの 17 のゴールを意識し、天理市民を誰一人取り残すことなく、持続可能な管理運営を目指します。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

■資料④　主な社会貢献活動、福祉活動、雇用支援活動：実績

【1】少年野球教室の開催

・ＳＳＫは毎年定期的に、プロ野球のＯＢ選手を招聘し全国各地で少年野球教室のイベントを開催しています。
・特に震災後は東北３県で重点的に開催し、被災地の方々に、笑顔をお届けすることができました。
・指定管理施設における自主事業としては、天理市、羽曳野市、摂津市、河内長野市、三木市、明石市、門真市、四條畷市の各グラウンドにおいて実施実績があります。

【過去の招聘選手（一部）】

阪神タイガース	梅野隆太郎氏、才木浩人氏、西純矢氏
広島東洋カープ	秋山翔吾氏
元阪神タイガース	真弓明信氏、桜井広大氏、浅井良氏、北條史也氏
元中日ドラゴンズ	立浪和義氏、
元読売巨人軍	桑田真澄氏、槙原寛己氏
元オリックスバファローズ	星野伸之氏、大西宏明氏、赤川貴弘氏等

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて非表示としております。

【2】企業運動会等各種スポーツイベントの運営

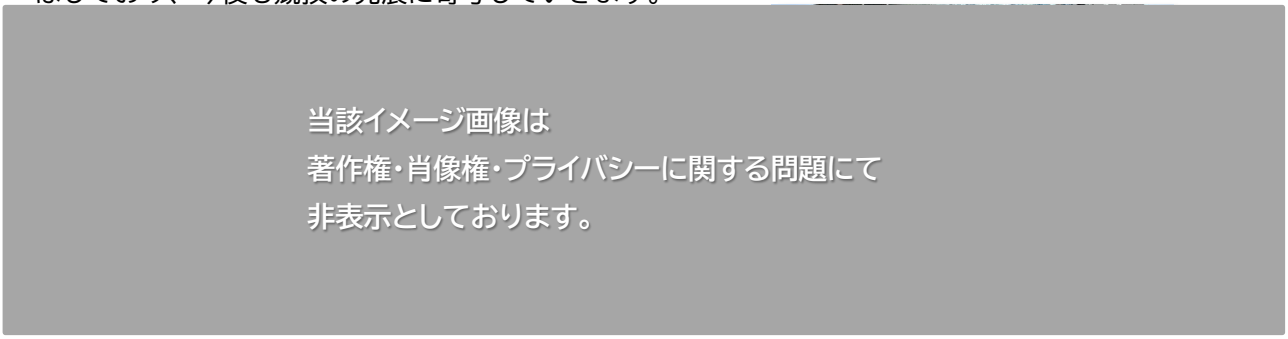
・ＳＳＫは、企業運動会や企業スポーツイベント等の**運営企画を毎年 100 件以上**行っています。
・開催実績は大阪の企業が中心ですが、ＳＳＫは旅行業資格も保有しており、各企業に対し、貸切バスによる各地運動施設への誘致も行っています。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

【3】アンプティサッカーの普及支援

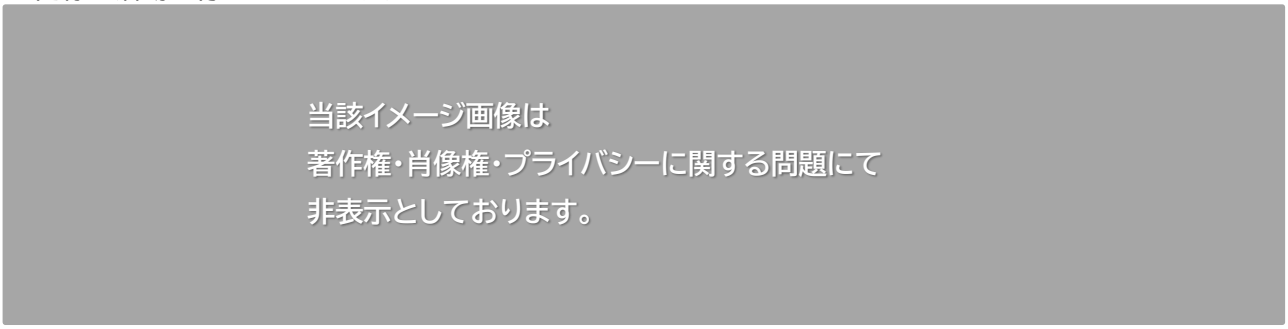
・ＳＳＫは病気や事故で上肢や下肢を切断した選手が松葉杖をついてプレーする、アンプティサッカーの普及を支援しています。毎年開催されているアンプティサッカー大会「レオピン杯」では、2015 年より継続してオフィシャルアンバサダーを務めています。また、アンプティ選手と健常者が一緒にプレーをしながら交流を図るイベントの支援も行い、より多くの人にアンプティサッカーを知ってもらうきっかけづくりに取り組んでいます。アンプティサッカー日本

代表は、2018 年のメキシコワールドカップで過去最高の 10 位を記録するなど、近年実力を伸ばしており、今後も競技の発展に寄与していきます。



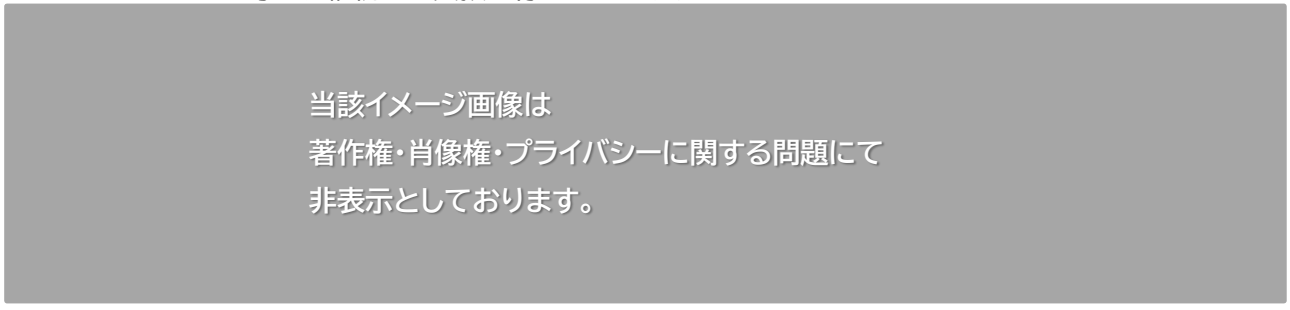
【４】自治体との協働事業

・ＳＳＫは、2018年5月に大阪府東大阪市と相互に連携及び協力し、**スポーツを通じたまちづくり**に関する取組みを実施することにより、**市民の健康的な生活の実現と地域の活性化**に資することを目的として、連携協定を締結しました。
その第一歩として、2019年5月には野球・サッカー・ラグビー・ハンドボール・陸上の5競技にて、「初心者向け体験型スポーツイベント」を開催することにより、地域の小学校低学年の親子180組がそれぞれの競技を実際に体験し、スポーツの持つ魅力を**体感**、その魅力を多くの方と**共有**、そしてこれからスポーツを始める**きっかけの場**を提供しました。他の行政に対しても同様の活動を行っていきます。



【５】キャッチボールクラシックへの取り組み

・ＳＳＫは少年野球をがんばる家族を応援しようと、日本プロ野球選手会が振興しているキャッチボールクラシックを 2015 年から応援しています。キャッチボールクラシックは東日本大震災をきっかけに始まった競技で、福島県の中学校の先生方と、プロ野球選手会と共にスタートしました。ＳＳＫでは、野球の楽しさの原点であるキャッチボールを切り口にスポーツに親しんでもらおうと考え、継続して支援を行っています。



【6】スポーツ振興：各種団体に寄付金を贈呈

・ＳＳＫはスポーツ振興を目的に 11 月中旬に、公益財団法人日本スポーツ協会（JSPO）及び関係スポーツ団体、日本オリンピック委員会（JOC）、日本野球連盟（JABA）、全日本野球協会（BFJ）、また 12 月下旬に日本高等学校野球連盟への寄付金を贈呈しました。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて非表示としております。

【7】やさしさのつまったランドセルの販売

・ｈｕｍｍｅｌは知的障がい児・者サッカースクール「トラッソス」の協力を得た「ふわりぃランドセル」とのコラボアイテムで、操作性を向上し、誰もが使い易いランドセルの発売を開始しました。「手先が不器用だったり、力が弱くてランドセルを持ちたくても使えない子どもたちがいる」というトラッソス：コーチから聞いた言葉がきっかけで２年に及ぶ試作を経て「やさしさのつまったランドセル」が完成しました。障がい者と健常者が共に手を取り支えあいながら成長できる社会を目指しています。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

【8】世界キャッチボールプロジェクト協賛

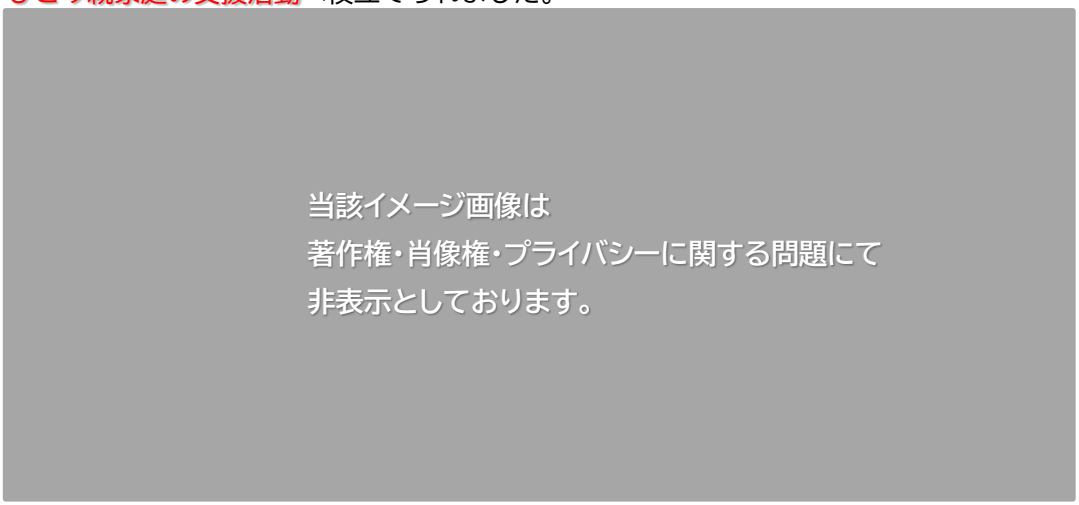
・ＳＳＫは２０２５年４月に大阪市の大阪・関西万博にある大屋根リング上で行われた「世界キャッチボールプロジェクト」に協賛しました。世界７０の国と地域から集まった人々が、国境を越えて繋がることを目的に実施され、約２Ｋｍの輪が４００名のキャッチボールで繋がりました。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

【9】「マザーズデー・チャリティプログラム」

・ＳＳＫは「母の日のイベント試合で使用した野球用具を、お母さんへ感謝を込めたチャリティー等に有効活用してほしい」という選手の声を受け、契約選手及び各球団の賛同を得て、２０２２年：ＮＰＢ主催の「マザーズデーのイベント試合にて契約選手が使用したグッズをＣＳＲ活動の一環として社会福祉法人中央共同募金会（赤い羽根共同募金）、モバオクと協同にて、チャリ

ティーオークションを実施しました。その収益金を全額「赤い羽根共同募金」へ寄付し、協力頂いた８球団の所在地がある埼玉・東京・愛知・大阪・兵庫・広島・福岡の各県共同募金会を通じて、ひとり親家庭の支援活動へ役立てられました。



■資料⑤　シフト表

【総合体育館】

	業務内容	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	勤務時間計
月	館長						休憩										8
	副館長												休憩				8
	スタッフA									休憩							8
	スタッフB						休憩										8
	スタッフC										休憩						8
	スタッフD																0
	スタッフE																0
	スタッフF																0
	スタッフG																3
	スタッフH																4
火	館長						休憩										8
	副館長												休憩				8
	スタッフA																0
	スタッフB						休憩										8
	スタッフC										休憩						8
	スタッフD																3
	スタッフE																3
	スタッフF																3
	スタッフG																0
	スタッフH																0
水	館長	休　館　日															0
	副館長																0
	スタッフA																0
	スタッフB																0
	スタッフC																0
	スタッフD																0
	スタッフE																0
	スタッフF																0
	スタッフG																0
	スタッフH																0
木	館長						休憩										8
	副館長												休憩				8
	スタッフA								休憩								8
	スタッフB						休憩										8
	スタッフC										休憩						8
	スタッフD																4
	スタッフE																3
	スタッフF																0
	スタッフG																0
	スタッフH																0
金	館長						休憩										8
	副館長																0
	スタッフA											休憩					8
	スタッフB						休憩										8
	スタッフC										休憩						8
	スタッフD																0
	スタッフE																3
	スタッフF																0
	スタッフG																0
	スタッフH																0
土	館長						休憩										8
	副館長												休憩				8
	スタッフA											休憩					8
	スタッフB						休憩										8
	スタッフC																0
	スタッフD																0
	スタッフE																0
	スタッフF																3
	スタッフG																0
	スタッフH																3
日	館長																0
	副館長												休憩				8
	スタッフA						休憩										8
	スタッフB																0
	スタッフC																3.5
	スタッフD						休憩										8
	スタッフE																0
	スタッフF																3
	スタッフG																0
	スタッフH																3
計																	館長 40
																	副館長 40
																	スタッフA 40
																	スタッフB 40
																	スタッフC 35.5
																	スタッフD 15
																	スタッフE 9
																	スタッフF 9
																	スタッフG 3
																	スタッフH 10

常勤（社員・契約社員）　非常勤（パート契約）

【二階堂体育館】

	職 員	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:15	勤務時間計
月	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
火	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
水	スタッフ	休 館 日														0
	スタッフ															0
	スタッフ															0
木	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
金	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
土	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
日	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
計		スタッフ(4名)														80h

非常勤(天理市シルバー人材センター様 委託)

【三島体育館】

	職 員	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:15	勤務時間計
月	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
火	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
水	スタッフ	休 館 日														0
	スタッフ															0
	スタッフ															0
木	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
金	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
土	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
日	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.5
	スタッフ															4.25
計		スタッフ(4名)														80h

非常勤(天理市シルバー人材センター様 委託)

【グラウンドゴルフ場】

	職 員	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	17:15	勤務時間計
月	スタッフA					休憩							8
火	スタッフB					休憩							8
水	スタッフ	休 館 日											0
木	スタッフC					休憩							8
金	スタッフA					休憩							8
土	スタッフD					休憩							8
日	スタッフB					休憩							8
計		スタッフ(4名)											48H

非常勤(パート契約)

■資料⑥　研修等実施計画

【研修等：実施計画】

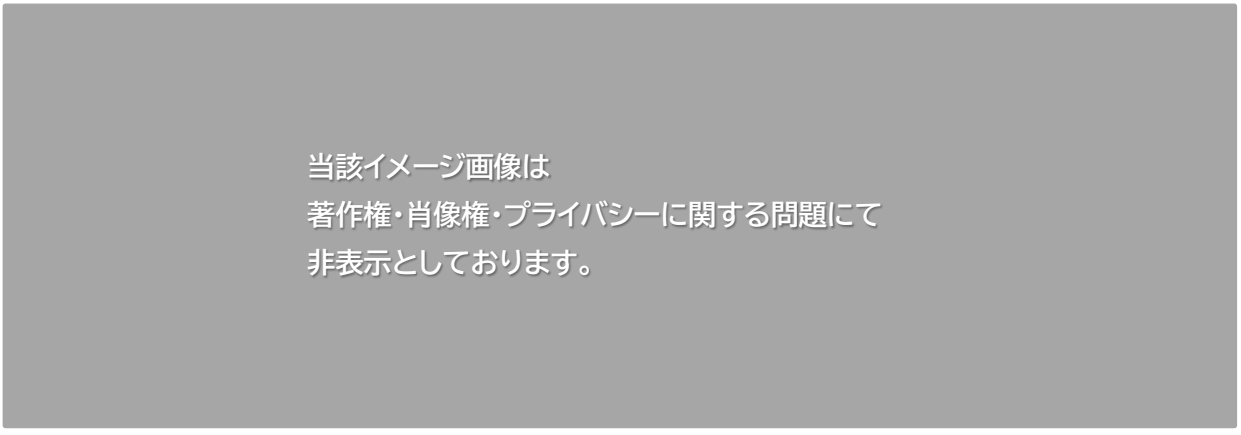
項目	内容	形式	頻度・時期
マナー研修及び業務全般に関する研修	接客マナー、電話対応研修、業務全般に関する基本事項について等	机上	入社時
OJT研修	職場内で上司・先輩が部下に日常の仕事を通じて、必要な知識・技能・仕事への取組み等を教育	実践	随時
個人情報保護法	個人情報保護法について学び、現状とセキュリティ対策及び、職場における具体的なセキュリティについて教育	机上	随時
情報セキュリティ研修	日々巧妙化する標的型メールへの免疫強化と意識向上	机上	随時
普通救命研修（AED研修）	心肺蘇生やAED、異物除去、止血法、AEDの使用方法等を学ぶ	机上 実践	随時
防災訓練	消防署、消防設備会社と連携して定期開催	実践	2回/年
人権研修	人権尊重の基礎知識に始まり、同和問題、女性・障がい者の人権等、テーマを設定した研修を行い、差別や偏見の解消を図る	机上	1回/年
熱中症対策	熱中症の症状等を正しく理解し、予防策と発生時の対応について学ぶ	机上	随時

【研修等：実施内容】

■接遇・接客マナー研修

「接遇・接客マニュアル」を用いて、本施設で働くにあたっての基礎事項を、本部および統括責任者より研修いたします。主に窓口での接客や電話応対、言葉遣いや所作などに関して、公共施設のスタッフとしてふさわしいマナーを身につけます。

研修は１回だけで終わるのではなく、日頃の勤務態度を見ながら繰り返し教育することで、**ご利用者の皆様が気持ちよくご利用いただける環境**を整えます。



＜利用者様への関心＞

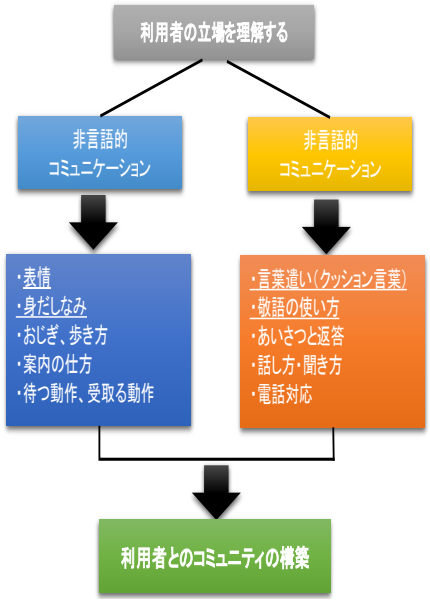
・利用者様がどのような状況に置かれ、何を求めているのか把握することに努めます。
・利用者様の立場からサービスの提供に努めます。
・利用者様に見られていることを常に意識して行動します。
・利用者様の時間を大切にし、お待たせしない対応を心がけます。
・利用者様の個人情報の取扱いには細心の注意を払い、しっかりと管理します。
・受身ではなく、特に、お困りの方には積極的な声かけを行います。
・専門用語や略語を使わない、分かりやすい説明に努めます。
・利用者様を不快な気持ちにさせない様施設内の環境整備(安全・安心・快適)に努めます。

【接遇力の向上策】

１：表情をつくる
２：身だしなみ
３：クッション言葉の活用
４：敬語の種類と使い方

以上の４点に留意し、日々の業務において
”まごころ”のこもったサービスを利用者の
方が受け、喜ばれる施設として取組んでまいります。

当該イメージ画像は
著作権･肖像権･プライバシーに関する問題にて
非表示としております。



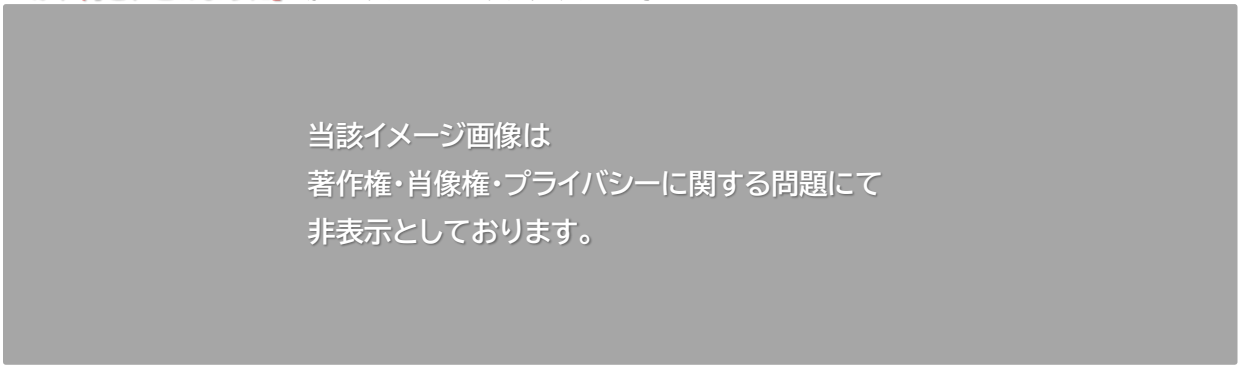
■個人情報保護研修

「接遇・接客マナー」と同様に基礎として身につけるのが「個人情報保護」に関する知識とルールです。
「個人情報取り扱いマニュアル」に基づいて、業務上で注意するべき個人情報の取り扱いについて、本部および統括責任者より教育を行います。

当該イメージ画像は
著作権･肖像権･プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

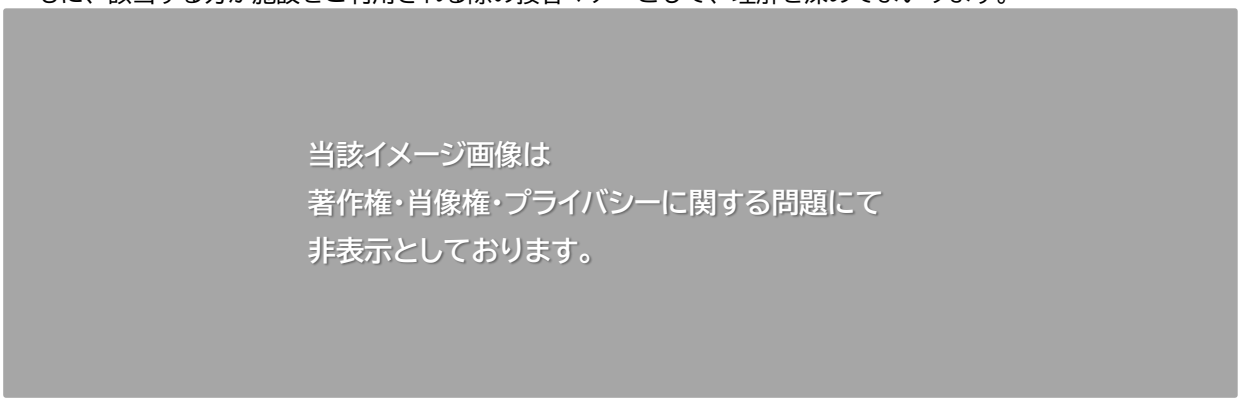
■普通救命講習・防災訓練

緊急の場合に備えて、全スタッフに**普通救命講習の受講を義務付け**、心肺蘇生や止血法、AED の使用方法を学びます。また年２回の防災訓練を実施し、万が一災害が発生した際に即時に行動できるよう、**「誰が、何を、どのように」**動けば良いのか、実践を交えて身につけてまいります。



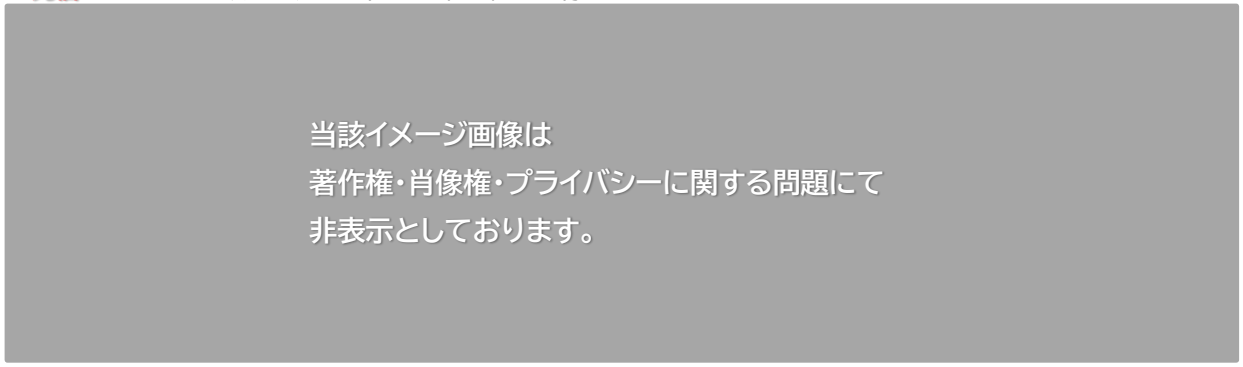
■人権研修

様々な境遇の方がご利用される公共施設において、人権について学ぶことは必須と言えます。**「ノーマライゼーション」**の理念の下、人権について学ぶ機会を最低でも年に１回は実施します。
「障がい」「国籍」「LGBTQ」など様々なテーマに沿った研修を行うことで、差別や偏見の解消を図るとともに、該当する方が施設をご利用される際の接客マナーとして、理解を深めてまいります。



■情報セキュリティ研修

ＳＳＫの専門部署による「情報セキュリティ研修」を年に１回実施いたします。現代の情報化社会においては**「サイバー攻撃」**の脅威は増す一方で、その手法も日々進化しています。以前、大阪府内の医療機関がサイバー攻撃を受け、甚大な被害を受けたのは記憶に新しいところです。
当事業体では実際のサイバー攻撃の事例や、それによって受けた被害の深刻さを伝えるとともに、それに対するセキュリティ対策を教育します。その一環としてサイバー攻撃の**「テストメール」を不定期で発信**しており、日頃から注意を高める取り組みも行っております。



■コンプライアンス研修

コンプライアンスを遵守することは企業として当然の責務であり、特に公の施設においては、コンプライアンス意識に欠けた振る舞いや違反行為は、社会的信用を大きく失う事態に発展します。
ＳＳＫは、下記目的に沿って全スタッフに向けた**コンプライアンス研修を毎年１回以上実施**し、各種法令や規則に基づいた、**公の施設にふさわしい倫理観**を身につけます。
また、コンプライアンスに反する行為を内部から抑制するために、**公益通報者保護法**に基づき、**ＳＳＫの総務部に従事者を配置**し、内部通報者の安全は必ず保護することを前提に、問題の解決・是正を図ります。

１．コンプライアンス違反のリスクを知る

コンプライアンス違反は、たった一人の小さな、そして安易な行動で大きなダメージを受けるリスクがあり、**一度失った社会的信用を取り戻すには非常に長い時間**がかかります。ただ単に法令やルールを学ぶだけでなく、**本施設の特性や環境に沿った規則を作成**するとともに、**実際の事例や罰則**などを用いて**当事者意識**と**責任感**の向上を図ります。

２．立場や業務に沿ったコンプライアンスの知識を身につける

一口にコンプライアンスと言っても、それぞれの立場や業務によって身につけるべき知識も変わってきます。法令や規則に関する基礎的な研修に加えて、より具体的な案件に特化した研修を実施します。例えば統括責任者などの管理職的な立場であれば、**「ハラスメント」**に関する研修、ＳＮＳに携わる業務であれば、**「著作権・肖像権」**に関する研修を行い、**専門的な知識**を高めてまいります。

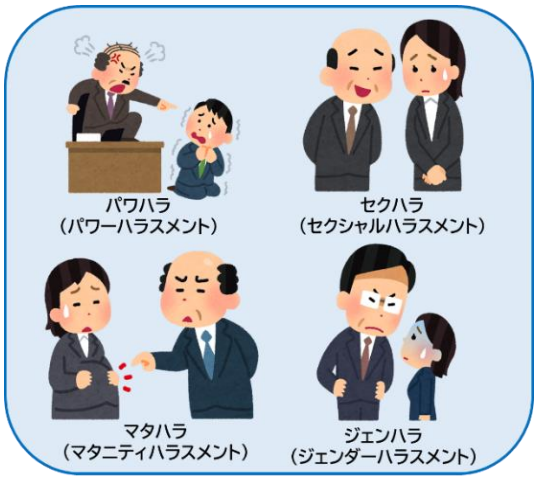
３．コンプライアンス違反に対するリスクマネジメント

どれだけコンプライアンス教育を徹底しても、違反行為が発生する可能性はゼロとは言い切れません。万が一コンプライアンス違反が発生した場合に備えて、それぞれの対応方法に関する研修も行い、**リスクマネジメント**を図ります。
それと合わせて、スタッフには**公益通報窓口**が設置されていること、またその仕組みを周知することで、万が一身の回りで違反行為と思しき事態に遭遇もしくは発見した場合には、**通報者の安全は保護されることを前提**に、安心して通報できる体制を整えます。

■具体的なコンプライアンス研修例

＜ハラスメント研修＞

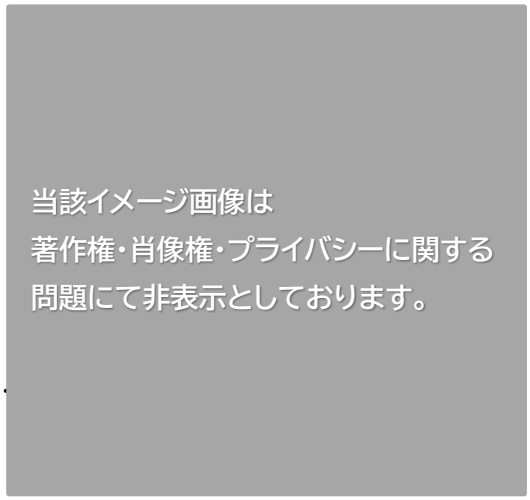
ハラスメントはあらゆる職場において発生する可能性の高い案件であり、その内容も**パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、ジェンダーハラスメント**など多岐にわたります。
例えばどういった言動がハラスメントに該当するのか、実際の事例も交えた上で研修を行い、**予防のために気をつけるべきポイント**も含めて理解を深めます。
また、統括責任者には、スタッフからハラスメントの相談を受けた際の対処方法についても、別途研修の機会を設けます。



＜著作権・肖像権に関する研修＞

昨今のインターネットコンテンツや SNS などの普及に伴い、理解の重要性が高まっているのが、**著作権・肖像権**に関する研修です。手軽にＷｅｂ上で画像や情報を入手でき、ＳＮＳで発信できる時代だからこそ、**正しい運用ルールを理解し遵守する**必要があります。

本施設においても、情報発信ツールとして積極的にＳＮＳを活用していく方針ですので、まずはＳＮＳの取り扱いに関するルールや、人を不快にさせない発信内容の精査、そして著作権・肖像権に関する知識を高めてまいります。



＜情報管理に関する研修＞

情報化社会と言われる現代において、情報セキュリティに関する研修の重要性は高まる一方です。特に学生も含めた若い世代の多くは SNS に慣れ親しんでいることで、情報管理に対する意識が低い場合も見受けられます。

顧客情報などが漏洩する事態に陥った企業は相当数存在し、業務上で主にご利用者様の個人情報を取り扱う本施設においても他人事ではありません。全スタッフに対し情報管理に関する規則を遵守徹底させるべく、実例を交えた研修を実施いたします。

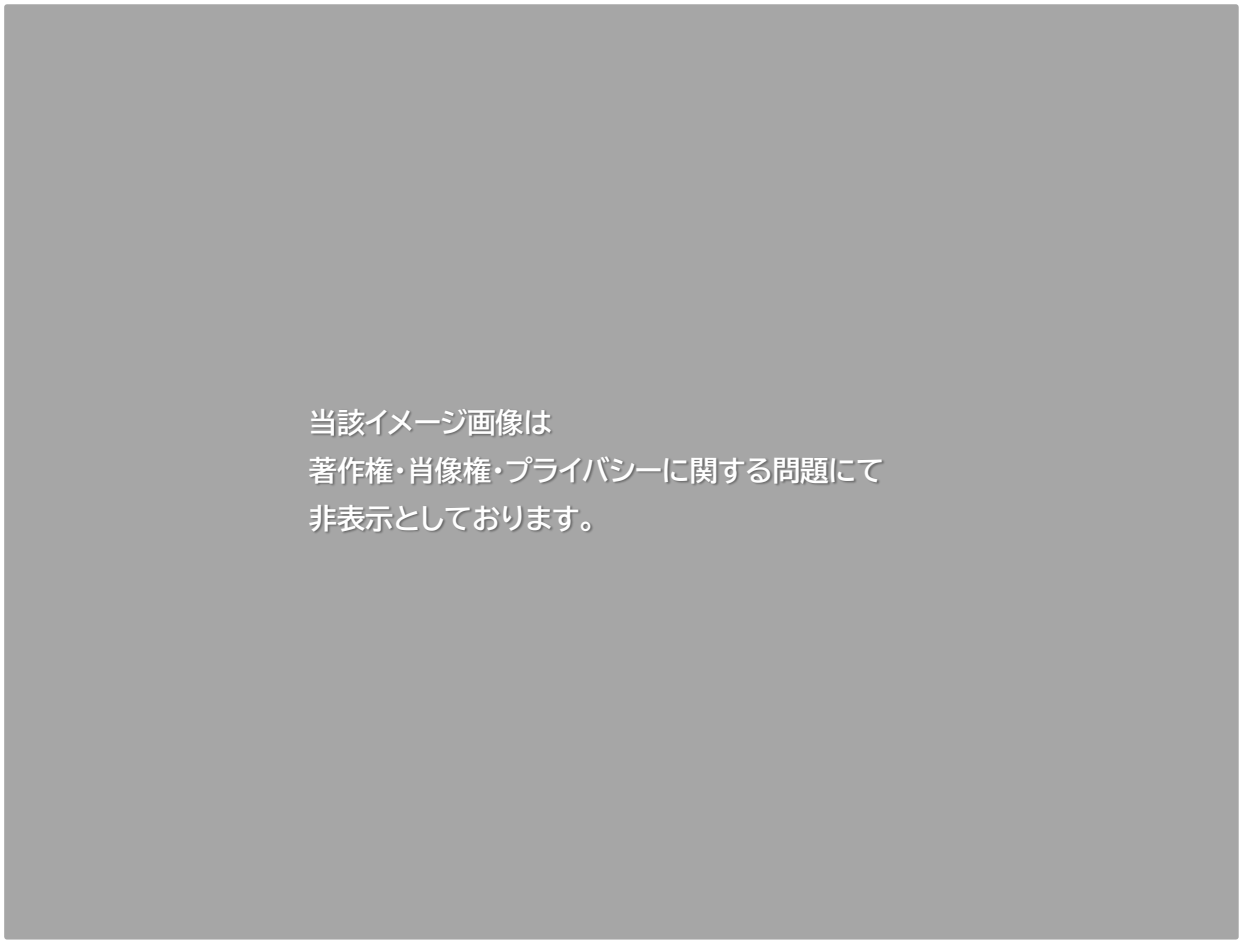
■資料⑦　スタッフの働き甲斐を維持する取組

具体的には年に1回の**ストレスチェック**を行い、診断結果が思わしくないスタッフに関しては、その内容に応じて統括責任者・本部担当者・総務担当者が面談を実施し、状況の改善を図ります。

尚、ストレスチェックの結果に関わらず、年１回を目途に直接雇用の全スタッフに対し本部担当者が**面談**を行い、それぞれが抱えている悩みや仕事に対する意見・要望をヒアリングする機会を設け、問題を抱えたままにしないよう改善を図ります。

また、スタッフ向けに自主事業で実施している教室やパーソナルトレーニングなどを体験できる機会を設け、体を動かすことで心身のリフレッシュを図るとともに、運動の習慣化を促すことで、健康的な状態で勤務してもらえるように取り組んでおります。

スタッフの働きがい・働きやすさを追求し、**「公平感」「達成感」「連帯感」**のある組織づくりを目指します。それがひいては**利用者サービス・満足の向上**に繋がります。

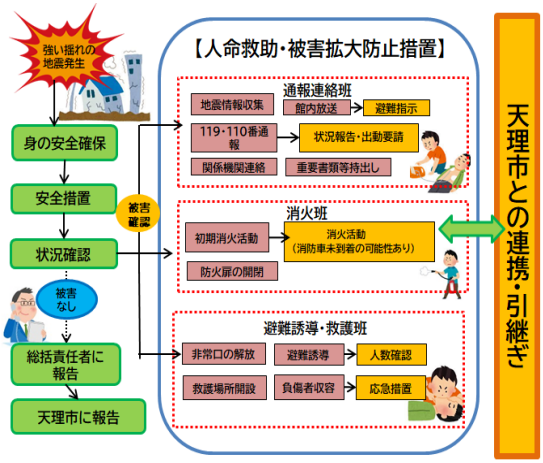


■資料⑧　ケース別フローチャート

■地震発生時

・地震発生時には慌てず、まず身の安全確保を最優先に行う。余震への警戒を強めながら状況確認（けが人の有無・被害状況）を行う。統括責任者（館長）を自衛消防隊長とし、他のスタッフを通報連絡、消火、避難誘導・救護班に分け、役割を明確にした後、各自の対応に従事する。地震情報等を収集し、関係各位との連絡をとりつけ連携・引継ぎを円滑に進める。

※県、市の災害応急対策の実施状況、交通機関の運行状況、道路状況等

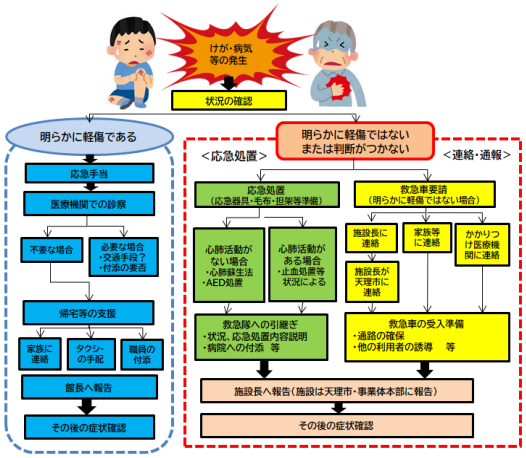


■けが、病気等発生時

・発生時には救護、応急手当を行い、必要に応じて救急車の要請、各関係機関への連絡を行う。

特に、事故発生時は負傷者の家族・保護者への連絡を適切かつ誠意を持って行うと同時に、速やかに二次災害の発生を防止。

・統括責任者（館長）は、直ちに再発防止策を講じるとともに、けが人・急病人の症状確認等、アフターフォローも実施。

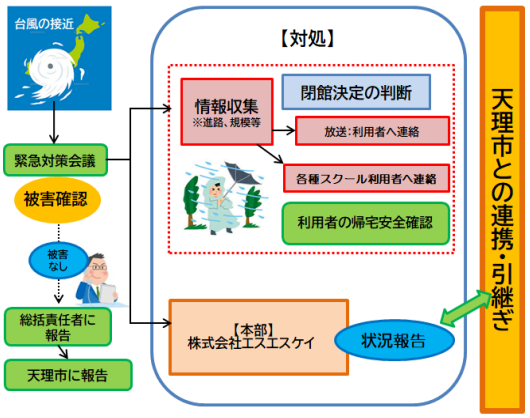


■台風発生時

・台風接近の際、緊急対策会議を実施。現場職員で情報収集（台風進路、規模、被害予測等）に当たる。

施設運営に関して継続開館か閉館の判断を行う。

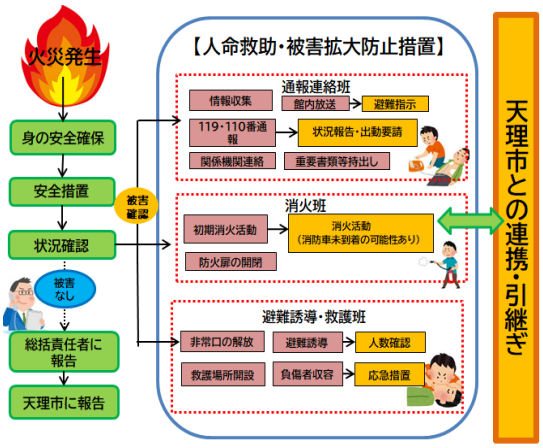
継続開館を判断した場合は再度安全確認を徹底した上で現状の維持に努める。閉館の場合は、現在の利用者への連絡（放送、口頭など）当日予定されている自主事業、スクール参加予定者への連絡。利用者全員が安全に帰路につき、館内に人が残っていない事を確認徹底。館長は被害状況や施設の開閉館判断を含め、天理市に連絡相談及び報告。副館長は現状を本部（㈱ＳＳＫ）へ連絡。本部は現状を把握し、各スタッフの安全帰宅を確認。以後天理市と必要となるやりとりが発生した際は対応できる体制を整える。



閉館決定の基準	・1時間あたりの雨量が50㎜以上で、継続的に同様の降雨気配がある場合。 ・瞬間最大風速が30m以上または継続的に20m以上の風が吹き続けている場合。 ・その他利用者の安全確保の観点から必要と判断した場合。 ※周辺の多くの展示物や花壇等が壊れるなどの場合 ※周辺の木々が多く倒れまたは折れるなどの場合 ※ガラスや屋根の破損が確認された場合 ※近隣施設で被害が発生し開館が適切でない場合。

■火災発生時

・火災発生時には慌てず、まず身の安全確保を最優先に行う。火の勢いが強い場合はただちに避難する。利用者を必要以上に混乱させない様館内放送は慌てず落ち着いて行う。次いで状況確認（けが人の有無・被害状況）を行う。統括責任者（館長）を自衛消防隊長とし、他のスタッフを通報連絡、消火、避難誘導・救護班に分け、役割を明確にした後、各自の対応に徹する。
会得できる範囲で原因を追究し、再発防止への対策を講じるとともに関係各位との連絡をとりつけ連携・引継ぎを円滑に進める。

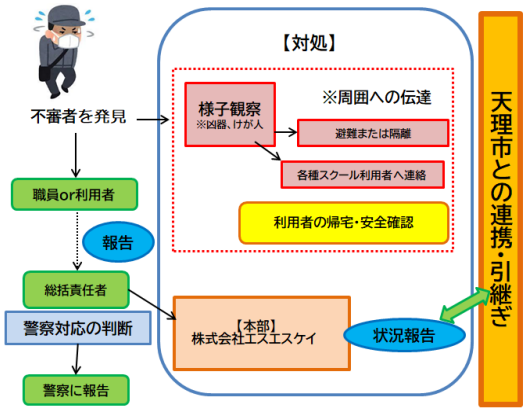


■不審者対応

利用者に対する挨拶や声掛けを日常的に行い、不審な行動をとる方に対しても、自然な形で注意します。奇声をあげるなど極端に不審な行動をとっている場合は、対象者を刺激しようとせず、速やかに警察へ通報し指示に従います。また発見者及び責任者は深追いをしない程度に様子を観察。

※凶器（危険物）の所持はないか、所持していた場合は直ちに警察へ通報。

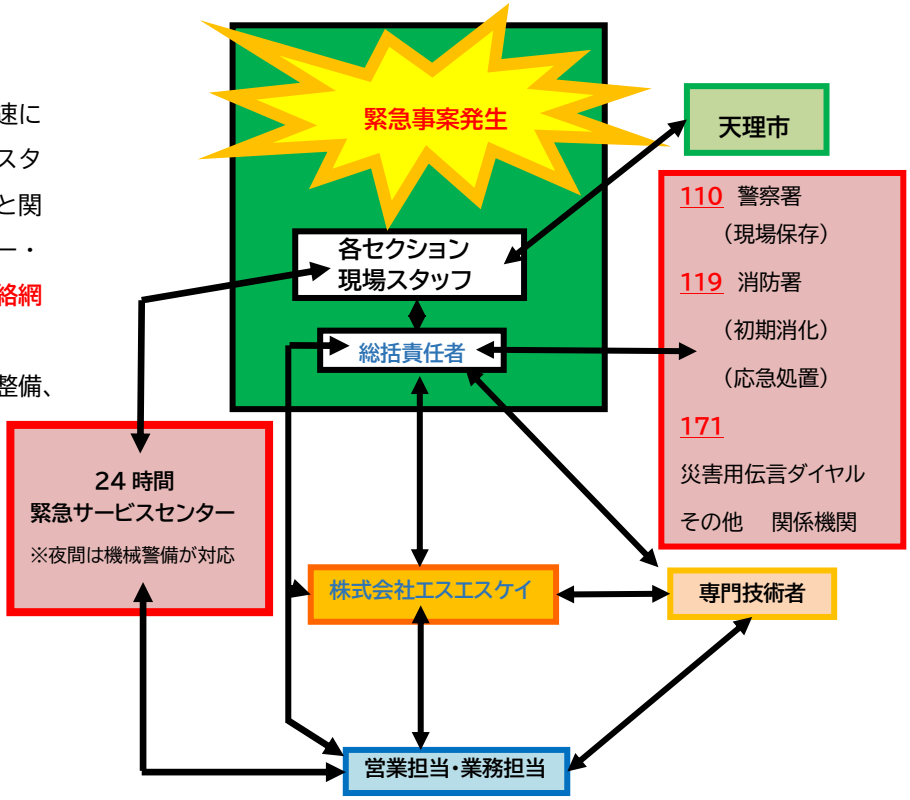
※けが人の有無も確認。けが人がいる場合は直ちに救急車の要請。総括責任者は職員と利用者の安全を第一に守る。状況によって当日来館予定の利用者（スクール生・関係各位）に連絡。同時に本部へも状況報告を行い、万全を期す体制を執る。



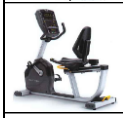
■緊急連絡網

休館日も含めて様々な緊急事態に迅速に対応できるよう、本部を含めた現場スタッフはもとより天理市の各関係機関と関係委託先業者（緊急サービスセンター・維持管理専門技術者等）との**緊急連絡網**を完備。

さらにスタッフの育成と応援体制の整備、確立を徹底して図ります。



■資料⑨　トレーニング室備品一覧

商品画像	品番	品名	数量
	T1X100V	トレッドミル	4
	U1X	アップライトバイク	2
	R1X	リカンベントバイク	2
	A3X	アセントトレーナー	1
	VS-S13P	チェストプレス	1
	VS-S33P	ラットプルダウン	1
	G3-FW83	アジャスタブルデクラインベンチ	1
	VS-S71P	レッグエクステンション	1
	VS-S70P	レッグプレス/カーフプレス	1
	VS-S72P	レッグカール	1
	G3-FW52	バックエクステンションベンチ	1
	VS-S74P	ヒップアップアブダクター	1
	VS-S22P	ベクトラルフライ/リアデルト	1
	G3-S55	ロータリートルソー	1

商品画像	品番	品名	数量
	D537	パワーベンチW1160	1
	D536	パワーベンチW500	1
	D504	アジャストベンチ	2
	D5592	アブドミナルボード板のみ	1
	D597	ハンドバーベルラック	1
	E280	ビューティーローラー	1
	D586	スミスマシン	1
	HEM100	血圧計	1
	WB150	体重計	1
	HBF306	体脂肪計	1
	DX386	ベルトトレーナー	1
	MS30	振動マシン	1
	TKK5408	全身反応測定器	1
	TKK5406	垂直飛び測定器	1

商品画像	品番	品名	数量
	G3-S76	ロータリーヒップ	1
	G3-S60	ディップ・チンアシスト	1
	D781	ダンベル10kgｾｯﾄ	2
	D782	ダンベル15kgｾｯﾄ	2
	D783	ダンベル20kgｾｯﾄ	2
	D784	ダンベル25kgｾｯﾄ	2
	D785	ダンベル30kgｾｯﾄ	2
	D786	ダンベル35kgｾｯﾄ	2
	D787	ダンベル40kgｾｯﾄ	2

商品画像	品番	品名	数量
	TKK5710	脚筋力測定器	1
	TKK5412	長座体前屈計	1
	TKK5402	背筋力計	1
	D539	パワーベンチHDX	1
	ICAROS	イカロスクラウド	1

※2 期目での追加設置

■資料⑩　トップアスリート招聘イベント実績

※直近３か年実績（一部抜粋）



※上記は直近 3 か年で実施したイベントの一部ですが、実績にお示しする通り、自社ブランドである野球（SSK）、サッカー（hummel）以外の多種目のトップアスリートを招聘してのイベント開催が可能です。初心者には「きっかけづくり」、スポーツ愛好家には「深める」機会となる「スポーツとの出会いの場」を天理市の皆様に積極的にお届けします。

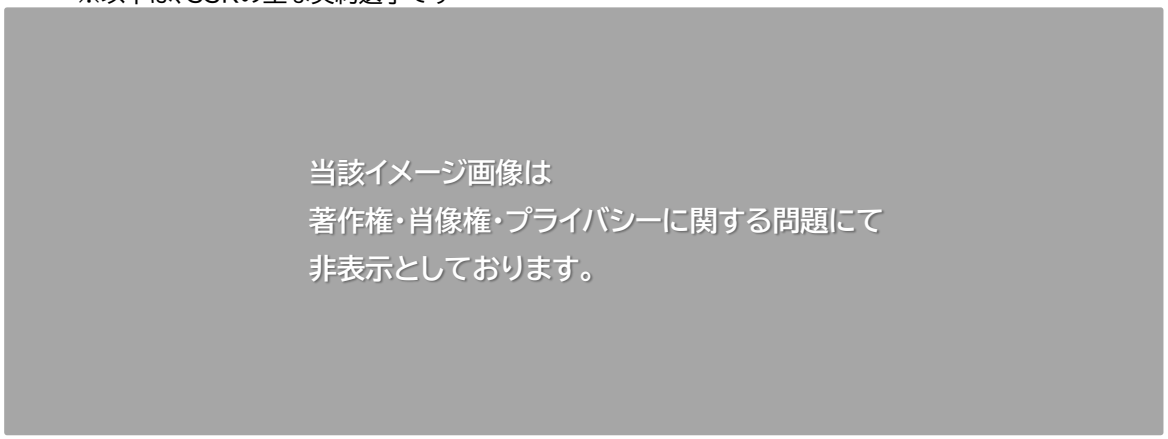
■資料⑪　自主事業計画書

【イベント型自主事業】

■プロ野球選手による子供野球教室

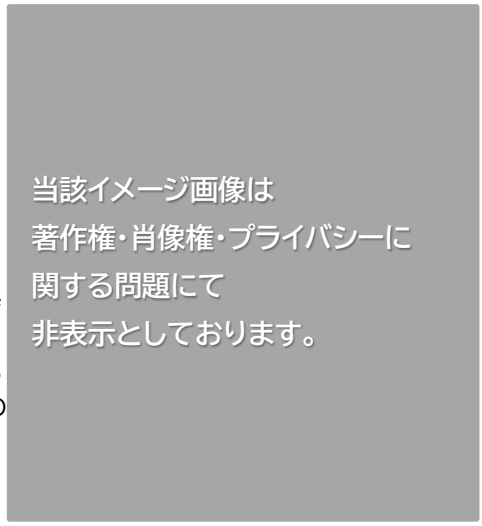
SSKは、業界屈指の野球メーカーとして、多くの現役有名プロ野球選手と用具契約を結んでおり、OB選手にも太いパイプがあります。全国各地で少年野球教室の開催実績があり、経験は豊富です。どの選手を招聘するか、イベント内容、参加料金等は天理市と協議の上決定しますが、天理市の少年野球選手達には**新たな目標に向けて、将来の夢が大きく広がる出会いの場、きっかけの場**となることをお約束します。

※以下は、SSKの主な契約選手です



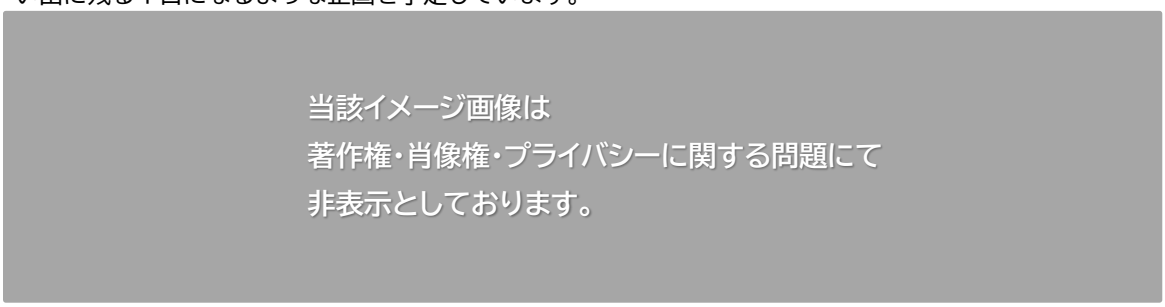
■フットサル＆サッカーイベント

2018 年度にリニューアルされフットサルでの使用が可能となった主競技場で引き続きフットサル競技の振興に努めます。前指定管理期間ではプロチーム「名古屋オーシャンズ」を招聘しての Ｆリーグプレシーズンマッチをはじめ、**岡部将和氏**（ドリブルマスター）をお招きしてのビッグイベントを実施しました。今現在定期教室にて協働する「インフィニティフットボールクラブ」の代表：**藤井健太氏**はフットサル元日本代表：主将であり、フットサル界のパイプも強く、今後もトップアスリートを招聘してのイベントに加え、小学生フットサル大会を同時開催する等、競技振興に繋がるイベントの開催が可能です。
また藤井氏の繋がりで今年開催されたサッカーW 杯で解説を務める等のご活躍が目立った**福西崇史氏**をお招きしてのサッカーイベントの開催も可能です。



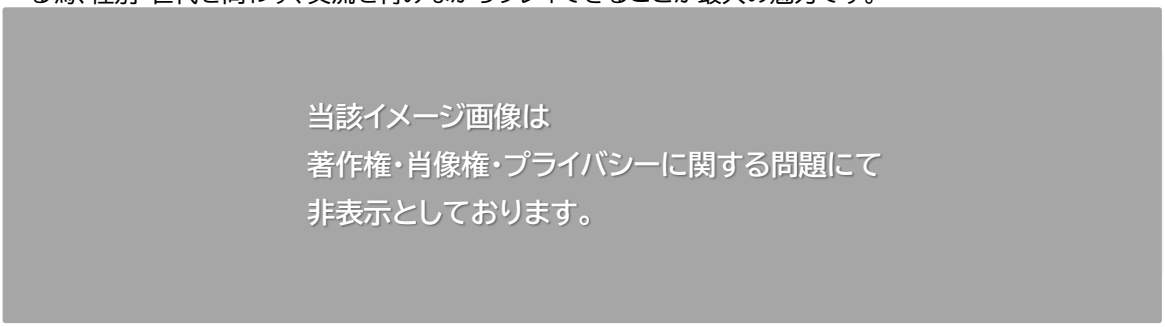
■グラブづくり体験会

親子での時間を共有、競技人口の向上を図り、普段できない体験の場として、**「親子グラブづくりイベント」**を開催します。主に野球をやったことがない、やってみたいお子さんとその保護者を対象に、**親子で一つの野球グラブを作り上げる**内容です。初めて手にする所謂〝ファーストグラブ〟が、自分自身で作ったオリジナルのグラブということで、野球への愛着度が非常に高まります。
作成作業の後は、早速**自分で作ったグラブを使って、親子でキャッチボール**する時間を設け、親子の思い出に残る１日になるような企画を予定しています。



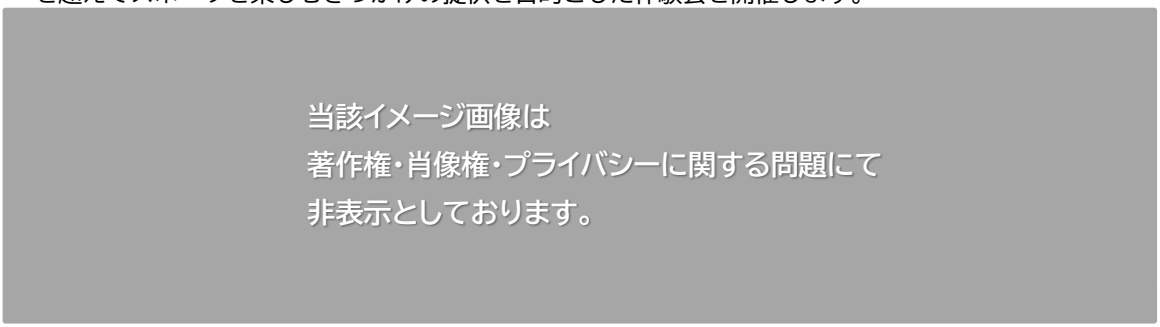
■モルックイベント

2020年モルック世界チャンピオンである河野靖信氏をお招きして年齢や体力に関係なく誰でも楽しめるニュースポーツ**「モルック」**の体験会を開催します。フィンランド発祥のスポーツでルールも非常に簡単である為、性別・世代を問わず、交流を育みながらプレイできることが最大の魅力です。



■ピックルボール体験会

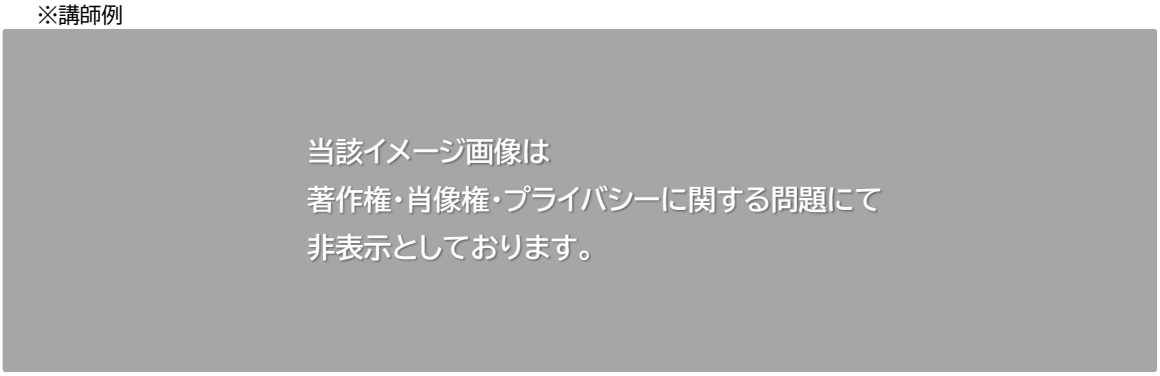
ピックルボールはテニス・卓球・バドミントンの要素をミックスした、**老若男女問わず楽しめる令和の新しいスポーツ**として注目を集めております。現在アメリカでは爆発的に競技人口が増えている種目で、主に年３回開催予定の開放ＤＡＹにおける「ニュースポーツの体験」そして「普及の場」、何より世代を越えてスポーツを楽しむきっかけの提供を目的とした体験会を開催します。



■プロによるテニスクリニック

SSKは、YONEX、ゴーセン等テニスのトップメーカーとの取引があります。また日頃よりテニススクールで共同する株式会社リアルスタイル様の支援を仰ぎ、プロテニスプレイヤーを招聘したテニス教室の開催が可能です。どの選手を招聘するか、内容、参加料金等は天理市と協議の上決定しますが、天理市のテニス愛好家の皆様には、必ずご満足いただけることを約束します。

※講師例



■テニストーナメント（地産地消カップ）

大会に参加して頂く大勢のテニス愛好家に、賞品や参加賞として地元の特産品を提供する「地産地消カップ」を開催します。また会場での直売会も実施する等、天理市の豊かな自然が育んだ農産物や名産物の魅力を発信し物産品（野菜・果物等）を通して天理市生産者様との触れ合い・連携を強化する事で地域活力の創出にも寄与します。各地で開催実績を誇る「Rapid社」に協働頂く事で実施が可能です。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに
関する問題にて
非表示としております。

■ランニングクリニック

オリンピック北京大会・世界陸上ベルリン大会でご活躍された中村友梨香さんをお招きしてランニングクリニックを開催します。小学生には走る楽しさを伝え、中学生以上にはより速く走るコツを含めた技術向上、オリンピックでの経験や体験談を交えた講義を加えて頂く等、天理市のマラソン愛好家の皆様と走りながら交流を深めて頂きます

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに関する問題にて
非表示としております。

■「HADO」 ARスポーツ

今注目を集めている「HADO」を定期的に開催する「開放 DAY」と年 1 回を目標に同時開催します。
2020 年度に開催実績があり、173 名の皆様にご参加頂き喜んで頂けた実績があります。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに
関する問題にて
非表示としております。

■小学生ドッヂボール大会「SSK CUP」

現指定管理期間でも開催する「小学生ドッヂボール大会」を継続開催します。
青少年の健全な育成とドッヂボール競技の振興に引き続き協働します。

当該イメージ画像は
著作権・肖像権・プライバシーに
関する問題にて
非表示としております。